

くすのき

発行:八幡市教育委員会 令和4年(2022年)11月18日
URL <http://www.city.yawata.kyoto.jp/>

第79号

おもな記事

- ◆八幡浜市との中学生交流 1・2面
- ◆八幡市文化賞・スポーツ賞表彰 2面
- ◆現在の教育委員会の構成 2面
- ◆教育支援センター開設10周年を迎えて 3面
- ◆八幡第四幼稚園の取組 4面

八幡浜市の中学生と交流しました

令和4年8月17日(水)から19日(金)の日程で、愛媛県八幡浜市の中学生15人が本市を訪問し、本市中学生12人と交流しました。

八幡浜市は二宮忠八翁の生誕の地であり、八幡市は晩年を過ごした地であるということ、また地名が「八幡」という漢字だけでなく、「やわた」の読みも一致していて、両市には非常に深い縁があるということから、平成25年度から両市の中学生交流事業が始まりました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止が続いていましたが、今年は3年ぶりに実施しました。

交流1日目は、歓迎式典の後、両市の中学生自らがプレゼンテーションを行い、お互いの市の魅力を紹介しました。その後、石清水八幡宮を見学し、本市の歴史について学びを深めました。2日目は、朝から山城広域振興局による宇治茶ムリ工講座を

受講し、宇治茶の基礎知識や玉露の美味しい淹れ方を学びました。次に、この交流のきっかけとなった二宮忠八翁が創建した飛行神社やらくがき祈祷で有名な単伝庵を見学するなど、はちまんさん山麓周辺の名所を巡る散策をしました。昼食では、八幡市給食調理員による学校給食で作るカレーをアレンジした竹炭入り黒カレーなどをいただきました。午後からは、松花堂庭園・美術館での庭園の散策や、茶室で抹茶を自分で点てるお茶席体験、竹からあかりがもれる



竹あかりを制作する生徒

よう電動ドリルで穴を開ける竹あかりづくりの活動を通じて、本市の名勝や文化などに触れながら、両市の交流を深めました。夕食は、京都吉兆松花堂店で松花堂弁当をいただき、旬の素材を味わいました。そして最後に、作った竹あかりを広場に並べてライトアップすると周囲が幻想的な光に包まれ、その風情ある光景を楽しみながら、交流での思い出などを振り返りました。



竹あかりのライトアップの様子



石清水八幡宮の本殿前での集合写真

3日目は、市役所前で歓送式典を行い、本市の中学生が考えた交流内容にまつわるクイズを出題したり、八幡浜市中学生へのメッセージを書いた色紙をプレゼントしたり、最後まで別れを惜しみながら、八幡浜市一行を見送りました。

来年度は本市の中学生が八幡浜市を訪問する予定です。八幡浜市のすばらしい歴史・文化を体験できることを楽しみにしつつ、これからも両市の友好関係を深めていきます。

(学校教育課)

八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰

令和4年11月3日(木・祝)八幡市文化センターにおいて、八幡市文化賞・スポーツ賞の表彰式が行われ、小学生・中学生が対象となるジュニア賞では14人の児童生徒が受賞されました。

受賞者は次のとおりです。

(敬称略・順不同)

【スポーツ賞・個人】

- ▽長尾 杏虹(南山小・空手)
- ▽谷 柚嬉(美濃山小・空手)
- ▽中尾 優亜(美濃山小・柔道)
- ▽中西 大輝(男山第二中・柔道)
- ▽横田 悠斗(男山第二中・柔道)
- ▽内藤 翔太(中央小・相撲)
- ▽松井 暖々(橋本小・トリアスロン)
- ▽新屋 もも(南山小・バレーボール)
- ▽奥崎 朝香(南山小・BMX)
- ▽小川 咲翔(橋本小・ミニバスケットボール)
- ▽祝井 啓輔(男山第三中・ミニバスケットボール)
- ▽辻村 翔琉(男山第三中・ミニバスケットボール)
- ▽板倉 大和(男山第三中・陸上)
- ▽田島 璃子(南山小・レスリング)

(社会教育課)

現在の教育委員会の構成

教育委員会委員の任期満了に伴い八頭司めぐみ氏が令和4年4月1日付で、橋本陽生氏が令和4年10月31日付で再任されました。現在の教育委員会の構成は次のとおりです。

【令和4年11月1日現在】

(教育総務課)

職名	氏名	任期		
教育長	小橋 秀生	3年	令和5年4月1日まで	1期目
委員(職務代理者)	橋本 陽生	4年	令和8年10月30日まで	3期目
委員	佐野 恵理子	4年	令和6年7月31日まで	2期目
委員	八頭司 めぐみ	4年	令和8年3月31日まで	2期目
委員	狩野 理恵子	4年	令和6年12月31日まで	1期目

寄

贈

○株式会社Living Color様、株式会社A-frame様、里山装飾様、谷口自動車株式会社様、光井建装株式会社様から市内全小学校に入学した新一年生児童へ防犯ブザー(535個)

○株式会社南都銀行様から美濃山小学校へ丸スツール

ありがとうございました。

(教育総務課)

八幡市教育支援センター

開設 10 周年を迎えて

旧八幡市教育研究所を発展的に再構築し、八幡市教育支援センターが開設されたのは今から10年前、平成24年度のことです。当時の全国の小中学校不登校児童生徒数は、約11万3000人(1.1%)。ちょうどこの平成24年度を境に増加が始まり、本稿執筆時点で最新の調査である令和2年度では約19万6000人(2.1%)と、この10年で2倍近く増加しました。



この間、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律(教育機会確保法)」の施行や様々なメディアを通じた情報発信もあり、不登校児童生徒にとっての休養の必要性や学校以外の学びの場の大切さへの社会的な理解も高まってきました。不登校の増加も、そういった理解が深まり、「登校する」という結果のみを目標とせず、将来の社会的自立へ向けて、不登校の子どもたちに寄り添った対応がとられるようになったことの表れという側面もあるのではないかと感じています。

とはいえ、不登校の児童生徒が学校復帰を含めた社会的自立に向かうためのエネルギーを高めるには、子ども一人ひとりの状況を見極め、ニーズに合わせた適切な支援を行うことが重要です。教育支援センターでは、家庭・学校・各種外部機関等と連携しながら、主として以下のような業務を行っています。

① 教育相談

八幡市内在住の園児・小中学生と保護者の教育に関わる様々な相談に応じるため、臨床心理士等専門家によるカウンセリングやプレイセラピーを行っています。

② 教育支援教室「さつき」

八幡市立小中学校に通う不登校の児童生徒が、それぞれの課題を踏まえて、学校復帰や将来的な社会的自立に向けて、学習支援、心のエネルギーを高める活動、カウンセリング等を受けています。

※指導時間・曜日や指導内容については見学・面接の後、専門家の助言を受けた上で決定します。

③ 特別支援教育

様々な障がいのある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を進めるために、学校等への支援を行っています。また教育支援委員会の事務局として、夏の地域学校の運営や学校・保護者への啓発活動、就学相談等を行っています。

様々な課題をお持ちのお子様やご家族に寄り添った支援を、これからも進めて参ります。

八幡市教育支援センター TEL : 075-982-3001

所在地 : 八幡市男山笹谷2 祝日を除く月~金 9:00~17:00

思いを出し合える仲間づくり
— 自分も大事 友達も大事 —

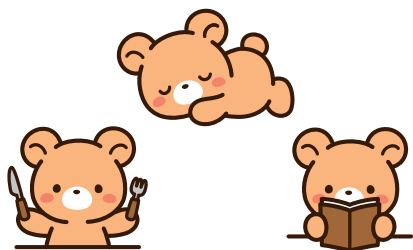
八幡第四幼稚園の取組

八幡第四幼稚園では、今年度、八幡市公立幼稚園・こども園教育研究会研究指定園として、「思いを出し合える仲間づくり ～自分も大事 友達も大事～」という研究テーマのもとに研究を進めています。

幼児は、集団生活の中で様々な友達の思いに触れ、喜びや葛藤、折り合いをつけることなどを経験しながら育ち合います。社会の変化により、人間関係が希薄になっている一方で、多様性の時代に合わせたコミュニケーション力が必要です。そこで、幼児が自分の思いを出し合う中で、相手のことも自分のことも大切にすることに視点を当て、取り組んでいます。今年度は、4・5歳児のみとなった本園ですが、思いをありのままに出して積極的な傾向、周りを気にして思いを出しにくい傾向、とそれぞれ違ったクラスの状況を踏まえ、互いに交流することで育ち合えるよう、異年齢保育にも取り組んでいます。異年齢グループの友達の様々な姿に触れ、刺激し合いながら園庭遊びや集団遊びを楽しんでいます。

また、日々の保育はもちろん、異年齢保育の中でも、活動の終わりに皆で振り返りをする対話の時間を大事にしています。友達の顔がよく見えるように円になって座り、話題について安心して意見を出し合い、共感したり受け止めてもらったりする喜びを感じられるように進めています。友達の様々な考え方やその友達のよさなどに触れる機会を積み重ねることで、自分に向き合ったり、友達の思いに気付いて立ち止まったりする様子が見られるようになってきました。互いのことを知ることで、関わり方にも変化が見られ、友達の言い分にも耳を傾ける姿が出てきました。

今後も様々な活動を通して自分も相手も大切にしながら互いに育ち合えるように取り組んでいきたいと考えています。



(保育・幼稚園課)

